

平成 30 年 9 月 25 日

東京農業大学総合研究所研究会会員  
東京農業大学教職員・学生  
農協関係者等 各位

東京農業大学総合研究所研究会  
農業協同組合研究部会長 白石 正彦  
GIS 研究部会長 鈴木 充夫

## 総合 J A の強みを伸ばすメカニズムと営農・経済事業マネジメントの 新ネットワーク化に関する第 11 回シンポジウムのご案内

地球規模での貧富の格差拡大・貧困問題・食料問題、異常気象の周年化などが、グローバルな競争原理主導の市場経済システムの歪みや人類的課題解決を軽視した自国利益ファーストの大国政治・政策の歪みと複合化し、相乗的に深刻化が加速しています。

一方で、これらに歯止めをかけるために、2015 年の国連総会は 2030 年を目標に”誰も置き去りにしない”を基本理念に地球規模での経済、社会、環境の三方面を統合した持続可能な開発の取り組みを展開することを採択しました。

このような現段階の人類的な課題解決に世界と国内の協同組合セクターがネットワークを組み取り組んでおります。協同組合セクターのまとめ役である非営利目的の国際協同組合同盟（ICA）には 107 ヶ国 308 団体、傘下の組合員は 12 億人が結集しており、その一翼を担う日本の J A グループは生協・漁協・森林組合・ワーカーズコープ等と日本協同組合連携機構を今年 4 月に創設し、地域に密着した多彩なネットワーク活動を広げています。

本シンポジウムでは協同組合としての J A グループの価値発揮のメカニズムとマネジメントの実態を明確化・見える化し学び合うために、“地域農業と暮らしに密着した多様な組合員参画力を土台とした「総合 J A の強みを伸ばすメカニズム」と「営農・経済事業マネジメントの新ネットワーク化」”に焦点を当て、来年 3 月の第 28 回 JA 全国大会開催も視野に活発に論議を深めたいと考えます。

報告者は本学から 2 名、J A 全中から 1 名、総合 J A から 3 名であり、コメンテーターは 4 名であり、本シンポジウム終了後には学内で交流会を予定しておりますので、農協の組合員・役職員、農協と取引関係にある関係者（本学総研の農協研究部会、GIS 研究部会の会員を含む）、農協に関心のある市民、本学の教職員・学生（留学生を含む）の参加を大いに歓迎いたします。

記

1. 日 時：平成 30 年 11 月 9 日（金）13 時～

2. 会 場：東京農業大学世田谷キャンパス 1 号館 6 階 632 教室

3. 主 催：東京農業大学総合研究所 農業協同組合研究部会、G I S 研究部会

協 賛：株式会社協同経済経営研究所、全国共同出版株式会社

4. 参加申込み方法

別紙参加申込書に必要事項を記入の上、10 月 26 日(金)までに下記の電子メールまたは F A X宛てに送信してください。

① 電子メール mshirais@nodai.ac.jp（農業協同組合研究部会長 白石正彦宛）

② F A X番号 0 5 0 - 3 7 3 0 - 0 0 5 9

5. 参加費：シンポジウム 無料／（交流会 3,000 円）

6. 第 11 回 シンポジウム

1) シンポジウムの主題：

“総合 J A の強みを伸ばすメカニズム”と“営農・経済事業マネジメントの新ネット  
トワーク化” —外部環境と主体的条件の激変を直視して—

2) 13:00～13:05：開会のあいさつ

3) 13:05～13:15：第 1 報告

テーマ「“J A グループの地域農業と暮らしに密着した多様な組合員参画力を土台  
とした総合 J A の強みを伸ばすメカニズム”と“営農・経済事業のマネジメン  
トの新ネットワーク化”の基本課題—SDG s を含む国内外の協同組合の研究  
と実践の動向を踏まえて—」

白石 正彦（東京農業大学 名誉教授、総研研究会農業協同組合研究部会長）

4) 13:15～13:50：第 2 報告

テーマ「J A グループの創造的自己改革の実践—第 28 回 J A 全国大会の議案を中心  
に—」

馬場 利彦（全国農協中央会 参事）

5) 13:50～14:05：第 3 報告

テーマ「“総合 J A の強みを伸ばすメカニズム”と“営農・経済事業マネジメン  
トの新基軸の創造”—第 28 回 J A 全国大会の論点を踏まえた新ネットワー  
ク化—」

鈴木 充夫（東京農業大学 客員教授、総研研究会 G I S 研究部会長、  
（株）協同経済経営研究所所長）

6) 14:05～14:40：第 4 報告

テーマ「“総合 J A の強みを伸ばすメカニズム”と“営農・経済事業マネジメン

トの新ネットワーク化” —JA 土浦を中心に—」

池田正 (JA 土浦代表理事組合長)

<休憩> 14:40~14:50

7) 14:50~15:25: 第5報告

テーマ「“GIS活用による圃場管理システムの高度化を基軸として総合JAの強みを伸ばすメカニズム”と“営農・経済事業マネジメントの新ネットワーク化” —JA やまがたを中心に—」未定 (JA やまがた)

8) 15:25~16:00: 第6報告

テーマ「“総合JAの地域農業ブランド力の強みを伸ばすメカニズム”と“営農・経済事業マネジメントの新ネットワーク化” —JA 邑楽館林を中心に—」  
阿部裕幸 (JA 邑楽館林常務理事)

9) 16:00~16:40: コメント

コメンテーター: 堀部 篤 (東京農業大学准教授、総研研究会農業協同組合研究部会幹事)

梶井 功 (東京農工大学 名誉教授)

勝又 博三 (日本協同組合連携機構 理事長)

松岡 公明 (農林年金 理事長)

<休憩> 16:40~16:50

10) 16:50~17:40: 一般討論

11) 17:40~17:45: 閉会のあいさつ

7. 交流会: 17・18号館1階「レストランすずしろ (松木家)」 18:00~19:40

電話: 03-3420-4116 交流会会費: 3000円

8. 問い合わせ:

農業協同組合研究部会長 白石正彦宛 e-mail (mshirais@nodai.ac.jp)

GIS研究部会長 鈴木充夫宛 e-mail (msuzuki@nodai.ac.jp)

9. 会場へのアクセス: 東京農業大学ホームページ (<http://www.nodai.ac.jp/>) でご確認ください。 ※東京農業大学世田谷キャンパス 所在地: 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

以 上